

週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2025 年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、
御言葉を聞いて悟る人」
(マタイによる福音書 13 章 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
祈 祷 会 各水曜日

○昼の聖書研究祈祷会
(第3・午後2時)
●夕の祈祷会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

協力牧師 堂 本 陽 子

協力牧師 井 東 昭

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3

FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

3165 2025 年 6 月 29 日

礼 拝 式 順 序

(聖霊降臨節第 4 主日)

司式者 井 殿 準

奏楽者 伊 東 永 子

前 奏	奏 楽 者
招 詞	司 式 者
讃 美 歌	一 同
聖 書	司 式 者
	イザヤ 60 : 1 4 ~ 2 2 (旧 P. 1161)
	マタイ 5 : 1 3 ~ 1 6 (新 P. 6)
使徒信条	一 同
祈 祷	司 式 者
讃 美 歌	一 同
説 教	司 式 者
祈 祷	〃
讃 美 歌	一 同
献 金	〃
主の祈り	〃
頌 栄	〃
祝 祷	司 式 者
答 唱	一 同
	～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～
報 告	司 式 者
讃 美 歌	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「人間〇つくった神」

(使徒言行録 17 : 22 ~ 34)

アテネにおいてパウロがユダヤ人の会堂や町の広場で教えを宣べ伝えていると、パウロの話に興味を持ったアテネの人々は彼をアレオパゴス会議に招き、教えの詳細に耳を傾けようとした。

パウロは町の至る所に偶像があるのを見て憤慨していたが、彼は頭ごなしに偶像を否定するところからは伝道を始めない。「知られざる神」の祭壇さえ築くアテネ人の宗教心を評価し、そこから「あなたがたが知らずに拝んでいるものをお知らせしましょう」とパウロは語り始め (23 節)、人がつくった神ではなく、人をおつくりになった神をあがめるべきことを語ったが、話が主イエスの復活に至った時、アテネの人々は「ある者はあざ笑い、ある者は、『それについては、いずれまた聞かせてもらおうことにしよう』と言った」。伝道の業は、そう易々とは進まない。

一人の人を信仰に導くことは容易ではない。「見失った羊」のたとえにおいて、羊飼いは苦労に苦労を重ねて迷い出た一匹を探し出したことだろう。「群れの外」にいる者を探し出して群れの内に入れる(信仰に導く)ことは大変なことだ。我々も誰かを導こうとする時に、パウロが言われたように、「いやいや、復活だなんて」と言われたり、「いずれまた」と軽くあしらわれることも多々あることだろう。しかし、容易でないからと言って、我々は福音の喜びを自分の胸の内にだけしまっておくことはしたくない。なぜなら我々は、主イエスが我々のために何をしてくださったのか?を知っているからである。主が我々の救いのために尊い命を惜しまず捨ててくださったことを知っているが故に、我々はこの良き知らせを隣人に伝えたいのだ。

パウロは、「いずれまた聞かせてもらうことにしよう」と言われた後、アテネを去ってコリントに向かったが、これは、アテネの人々が「探す必要のない羊」となったからではない。34 節にアテネでも信仰に入った者があつたと記されているが、パウロが去った後はこの人たちがアテネで福音を宣べ伝えて行つたのだ。

主イエスには探している羊がたくさんいる。我々は、そのことを覚えて、再びここから遣わされて行こう。